

「任せるコッ」



山本 渉著

職場でも家庭でも責任感が強い人ほど、一人で多くの仕事を抱え込みがち。「人にお願ひするのが苦手」「自分でやった方が早く、他人に任せられない」。やがて孤立感を深め、ストレスをためることもつながら。本書は、自分も相手も気分良く仕事ができる頼み方を伝える。

相手に語り掛ける言葉選びなどのテクニックのほか、部下の意欲や適性を見極め、信頼

人材育成のマネジメント論

関係を醸成することも説く。実際に任せられる人材を育成するためのマネジメント論が深掘りされており、相手の達成感を満たしつつ自分の負担も軽減するという、バランス感覚が養える。

著者は大手マーケティング会社の統括ディレクターだが、「高校を中退して長らく引きこ

平積みの1冊

もり、今でもお店の店員さんとは話すのも苦手」と打ち明ける。だからこそ、本書の内容を実践するのに特別な能力は必要ないと強調する。昨年7月の発売から約半年で8刷、10万部。版元の担当者は「著者自身の失敗経験を踏まえた内容で、自分事として共感できる。リーダーやマネジャーはもちろん、仕事を任せてほしい部下や新入社員からも支持されている」と話す。《すばる舎・1650円》